

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公開番号】特開2012-16032(P2012-16032A)

【公開日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-003

【出願番号】特願2011-174622(P2011-174622)

【国際特許分類】

H 04 M 1/02 (2006.01)

H 05 K 5/02 (2006.01)

【F I】

H 04 M 1/02 C

H 05 K 5/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月26日(2011.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

操作側筐体であって、少なくとも、操作部が備えられている操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、撮像部とこの撮像部よりも下方に配置される表示部とが備えられている表示側筐体と、

前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部又はその近傍の第1位置」に位置するように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から、ユーザーから見て上方向に、所定の距離だけ離れる第2位置」に移動可能に支持する支持部と、を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項2】

操作側筐体であって、少なくとも、その上端部よりも下方の位置に操作部が備えられている操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、その上端部またはその近傍部分に撮像部が備えられ、前記撮像部よりも下方の位置に表示部が備えられている表示側筐体と、

前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置するように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離され、前記表示側筐体が前記操作側筐体から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れる第2位置であって、少なくとも前記表示側筐体が前記第1位置に在る場合と比較して前記撮像部がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置」に移動可能とし、且つ、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する支持部であって、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して「ユーザーから見て上方向に移動可能」に連結する略棒状の部材を含む支持部と、を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項3】

操作側筐体であって、少なくとも、その上端部よりも下方の位置に操作部が備えられて

いる操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、その上端部またはその近傍部分に撮像部が備えられ、前記撮像部よりも下方の位置に表示部が備えられている表示側筐体と、

前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置するように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されて、前記表示側筐体が前記操作側筐体から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れる第2位置」であって、少なくとも前記表示側筐体が前記第1位置に在る場合と比較して前記撮像部がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置」に移動可能とし、且つ、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する支持部であって、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して「ユーザーから見て上方向に移動可能」に連結する略棒状の部材を含む支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項4】

操作側筐体であって、少なくとも、その上端部よりも下方の位置に操作部が備えられている操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、その上端部またはその近傍部分に撮像部が備えられ、前記撮像部よりも下方の位置に表示部が備えられている表示側筐体と、

前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置するように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されて、前記表示側筐体が前記操作側筐体から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れる第2位置」であって、少なくとも前記表示側筐体が前記第1位置に在る場合と比較して前記撮像部がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置」に移動可能とし、且つ、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する支持部であって、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して「ユーザーから見て上方向に移動可能」に連結する略棒状の部材を含む支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項5】

操作側筐体であって、少なくとも、その上端部よりも下方の位置に操作部が備えられている操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、その上端部またはその近傍部分に撮像部が備えられ、前記撮像部よりも下方の位置に表示部が備えられている表示側筐体と、

前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置するように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されて、前記表示側筐体が前記操作側筐体から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れる第2位置」であって、少なくとも前記表示側筐体が前記第1位置に在る場合と比較して前記撮像部がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置」に移動可能とし、且つ、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する支持部であって、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して「ユーザーから見て上方向に移動可能」に連結する略棒状の部材を含む支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項6】

操作側筐体であって、少なくとも、その上端部よりも下方の位置に操作部が備えられている操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、その上端部またはその近傍部分に撮像部が備えられ

、前記撮像部よりも下方の位置に表示部が備えられている表示側筐体と、
前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置する
ように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離され
て、前記表示側筐体が前記操作側筐体から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れる
第2位置であって、少なくとも前記表示側筐体が前記第1位置に在る場合と比較して前記
撮像部がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置」に移
動可能とし、且つ、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が
前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する支
持部であって、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して「ユーザーから見て上方向に移
動可能」に連結する略棒状の部材を含む支持部と、

を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項7】

操作側筐体であって、少なくとも、その上端部よりも下方の位置に操作部が備えられて
いる操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、その上端部またはその近傍部分に撮像部が備えられ
、前記撮像部よりも下方の位置に表示部が備えられている表示側筐体と、

前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置する
ように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離され
て、前記表示側筐体が前記操作側筐体から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れる
第2位置であって、少なくとも前記表示側筐体が前記第1位置に在る場合と比較して前記
撮像部がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置」に移
動可能とし、且つ、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が
前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する支
持部であって、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して「ユーザーから見て上方向に移
動可能」に連結する略棒状の部材を含む支持部と、

を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項8】

操作側筐体であって、少なくとも、その上端部よりも下方の位置に操作部が備えられて
いる操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、その上端部またはその近傍部分に撮像部が備えられ
、前記撮像部よりも下方の位置に表示部が備えられている表示側筐体と、

前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置する
ように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離され
て、前記表示側筐体が前記操作側筐体から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れる
第2位置であって、少なくとも前記表示側筐体が前記第1位置に在る場合と比較して前記
撮像部がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置」に移
動可能とし、且つ、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が
前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する支
持部であって、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して「ユーザーから見て上方向に移
動可能」に連結する略棒状の部材を含む支持部と、

を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項9】

操作側筐体であって、少なくとも、その上端部よりも下方の位置に操作部が備えられて
いる操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、その上端部またはその近傍部分に撮像部が備えられ
、前記撮像部よりも下方の位置に表示部が備えられている表示側筐体と、

前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置する

ように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されて、前記表示側筐体が前記操作側筐体から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れる第2位置であって、少なくとも前記表示側筐体が前記第1位置に在る場合と比較して前記撮像部がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置」に移動可能とし、且つ、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する支持部であって、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して「ユーザーから見て上方向に移動可能」に連結する略棒状の部材を含む支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。

【請求項10】

操作側筐体であって、少なくとも、その上端部よりも下方の位置に操作部が備えられている操作側筐体と、

表示側筐体であって、少なくとも、その上端部またはその近傍部分に撮像部が備えられ、前記撮像部よりも下方の位置に表示部が備えられている表示側筐体と、

前記表示側筐体が「前記操作側筐体の上端部に近接又は当接する第1位置」に位置するように、前記表示側筐体と前記操作側筐体とを分離可能に接続する接続部と、

前記表示側筐体を、前記第1位置から「前記表示側筐体が前記操作側筐体から分離されて、前記表示側筐体が前記操作側筐体から所定距離だけユーザーから見て上方向に離れる第2位置であって、少なくとも前記表示側筐体が前記第1位置に在る場合と比較して前記撮像部がユーザーの顔をその鼻の穴がより目立たない角度から撮像可能な第2位置」に移動可能とし、且つ、ユーザーが前記操作側筐体を片手で保持するだけで前記表示側筐体が前記第2位置に保持されるように、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して支持する支持部であって、前記表示側筐体を前記操作側筐体に対して「ユーザーから見て上方向に移動可能」に連結する略棒状の部材を含む支持部と、
を備えたことを特徴とするテレビ通話機能付き携帯端末。